

## 第14回 わくわくコンサート ～みんなで楽しむ音楽鑑賞会～

第14回 わくわくコンサート実行委員長  
池田 幹莉杏

### ◆わくわくコンサートとは

小さなお子様や支援を必要とする方など、普段コンサートに参加することが難しい方も含め、誰もが気軽にホールで音楽に触れて楽しんでいただける機会を創出すること目的とした、平成19年からスタートしたコンサート活動です。香川大学の学生を中心として活動し、先生方や大学職員、卒業生、演奏者、複数の企業、団体等のご協力を得ながら、毎回無料でコンサートを実現してきました。ご来場くださる多くのお客様からご好評をいただき、今年度で14回目を迎えました。



第14回わくわくコンサート実行委員会

### ◆第14回 わくわくコンサート

今回はテーマを「ドイツ」、テーマアルファベットを「G」として開催しました。今年（2021）、日本とドイツは1861年に当時のプロイセンと江戸幕府が日普修好通商条約を締結してから160年目の記念の年を迎えました。ドイツ連邦共和国総領事館からご後援やメッセージをいただくとともに、160年を記念する行事としてロゴマークの使用も許可されました。

今年度は年度当初から新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。これまでより活動開始の時期が遅れたことや、次々と打ち出されるホールでの対応指針の変更にどのように対処していけばよいのか、頭を悩ませる日々が続きました。特にこれまでになかったのは、お客様のご来場にあたってご予約いただく必要が生じたことです。ホール自体は、しっかりした換気システムを備えており、文化庁の指針にもクラシックコンサート開催について対策を行えば大きな問題はなかったのですが、フォームズを使用してご予約いただくのは初めてで、うまく機能するのか、お客様はどれくらいご予約いただけるのかなど、予約開始日まで心配は尽きませんでした。

また、感染症対策の対応変更がどのタイミングで生じるか判断できないため、チラシの作成をできる限り遅らせ、その代わりに香川大学のHPやサンポートホールのHPに初めて予告を作成して掲載しました。ラジオ出演や香川大学の公式YouTubeチャンネルに掲載するなど、「わくわくコンサート」の開催を広く市民の皆さまに知っていただけるよう努めました。そのほかにも本部会や実行委員会の開催が難しかったことなどこれまでにない体験を数々しましたが、メール審議やZOOMで繋ぐなど、多様な方法で準備を進めました。お陰さまでご予約については早々に定員を超えるお申込みを頂き、間際にはキャンセル待ちの電話に悩まされるという嬉しい状況でした。





入場の様子（コロナ対策：検温・消毒，担当学生はフェイスガード着用で対応）

プログラムは、1曲目にバッハ：「管弦楽組曲第3番よりアリア(G線上のアリア)」，2曲目にフンパーディング：「ヘンゼルとグレーテル(Hänsel und Gretel)」，3曲目にメンデルスゾーン：「バイオリン(Geige)協奏曲」を演奏しました。特に小さいお客様から好評を頂いたのが，2番目に演奏した「ヘンゼルとグレーテル(Hänsel und Gretel)」です。わくわくコンサートでは初の試みとなる気軽に楽しめる「語り劇」という形で上演しました。オリジナルのナレーション原稿を作成，美術専修の大学院生（河西さん）に依頼したイラスト上映，座ったままでもお客様と一緒に踊れる「魔女のダンス」など，様々な工夫を盛り込みました。終了後のアンケートでは「魔女のダンスが楽しかったです」「ヘンゼルとグレーテルがよかった」などの感想もいただき，この企画を成功させることができたと考えています。また，3曲目の「バイオリン協奏曲」の演奏も大好評でした。バイオリン独奏者には数々のコンクールでの受賞経験を持つ杉山和駿さん（東京藝術大学4年生）をお迎えし，すばらしい演奏をご披露いただきました。バイオリン協奏曲の中でも特に人気の高いこの作品のライブ演奏は，ご来場のお客様に大変ご満足いただけたようです。

例年行っていたロビーイベントについては，新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため，やむなく中止としました。しかし，密にならない状態を作りつつ，少しでもドイツの雰囲気を感じていた



ヘンゼルとグレーテル（魔女のダンス）

だけないかと考え，「ヘンゼルと グレーテル」で使用したイラスト原画やドイツ観光局からお貸出いただいたロールアップバナーの展示を行いました。



メンデルスゾーン：バイオリン協奏曲

一時は新型コロナウイルス感染症のため，開催自体も危ぶまれましたが，実行委員は連携しながら準備を進めました。準備も開催も例年と同様にはいかない部分が多くありましたが，感染症対策を徹底して行うことで，安心安全なコンサートを提供することができました。多くのお客様が笑顔でお帰りくださって，「開催してくれてありがとう」というお声がけも多数頂戴しました。コロナ禍での開催となりましたが，私たちにとってもかけがえのない貴重な経験となりました。

最後になりましたが，たくさんのご協力，ご支援を頂きました松楠会の皆様に，心より御礼申し上げます。

ありがとうございました。